

## ま え が き

日本語教育の発展に大きく貢献された小出詞子先生の古稀をお祝いする会が発端となり、1992年に小出記念日本語教育研究会が発足しました。研究会は、日本語教育界で教育・研究に携わる者が、研鑽を発表する場、学問上・教育上の蓄積に触れる場として30年間活動を続け、2022年4月1日より小出記念日本語教育学会となりました。本学会は「現場と研究が一体となっこそ日本語教育の進展がある」という小出先生のお考えに基づき、現場からの研究成果の共有および、理論を追究する研究者から現場への提案の場を構築することを目的としています。

本論文集33号には、研究論文4本、研究ノート1本の計5本の投稿論文が掲載されました。5本はいずれもある特定の母語話者が対象であり、日本語使用コーパスやデータベース、自身が収集したデータを分析した研究で、非常に興味深い結果となっています。投稿数は過去最多の32本、採択率は15.6%と非常に厳しかったように見えます。ですが、実際には、投稿時の不備や音信不通なども多く、残念ながら不受理・不採用となった投稿も過去最多となりました。会員の皆さまには、投稿規定に従い、チェックリストを丁寧に確認したうえで投稿し、投稿後は迷惑メールボックスも含めてメールをご確認いただけますと大変ありがたく存じます。

また、本誌には第33回年次大会の報告も掲載されています。2025年度第34回年次大会は、6月28日（土）にオンラインにて開催されます。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

なお、本誌はこの33号より電子媒体のみでの発行となりました。発行形態の移行に伴い、クリエイティブ・コモンズ・ライセンスの導入の検討を進めています。また、これを機に投稿規定の大幅な見直しを行いました。ご投稿の際には、学会サイトより最新版の投稿規定および投稿用テンプレートを用いるようにしてください。新たな知見を示し、日本語教育への貢献が認められる論文が数多く投稿されることを期待しています。特に、日本語教育の現場に基づいた研究の成果、および、教育実践系の論文や会員への啓発に繋がる実践報告を歓迎します。

今後も本学会が日本語教育の「現場」での実践に貢献できる場となるよう、皆さまのご協力をお願いいたします。

2025年3月  
小出記念日本語教育学会  
編集委員会

目次  
CONTENTS

まえがき  
PREFACE

---

論文  
PAPERS

研究論文  
RESEARCH PAPERS

- マレー人元留学生による勧誘行動の特徴と課題  
—コミュニケーション言語能力の観点から—  
稗田 奈津江 5  
Characteristics and Issues of Invitational Behavior by Former Malay International Students:  
From the Perspective of Communicative Language Competence  
HIEDA, Natsue
- ほめの応答に用いられる「いや」の機能および後続展開  
—日本語母語話者と中国人日本語学習者の比較—  
彭 津 21  
The Function and Subsequent Development of “Iya” Used in Responses to Compliments:  
A Comparison between Native Japanese Speakers and Chinese Learners of Japanese  
PENG, Jin
- オノマトペの種類と文脈量が意味推測に与える影響  
—中国語を母語とする日本語学習者の聴解テストの分析を通じて—  
柏 晨悦 37  
Effects of Onomatopoeia Type and Context Quantity on Lexical Inference of Japanese  
Onomatopoeia:  
A Study of Chinese Learners’ Listening Test  
BAI, Chenyue

韓国語を母語とする日本語学習者のメタ言語表現の使用とレベル別特徴  
—「論点化」と「言い淀み」に着目して—

岩佐 詩子・奥村 圭子  
金庭 久美子・坂井 菜緒  
西部 由佳・萩原 孝恵

53

The Use of Metalinguistic Expressions and Their Characteristics with Reference to the Level of  
Oral Proficiency of Korean Learners of Japanese:  
Focusing on *Ronten-ka* and *Iiyodomi*

IWASA, Utako; OKUMURA, Keiko  
KANENIWA, Kumiko; SAKAI, Nao  
NISHIBE, Yuka; HAGIWARA, Takae

研究ノート  
RESEARCH NOTE

ベトナム語母語話者における漢越語の意味把握に関する質的調査  
—日本語学習への利用可能性の再検証—

天野 裕子・道上 史絵  
チャン クォック ヒエップ・比留間 洋一

69

A Qualitative Study on the Comprehension of Sino-Vietnamese Words among Native Vietnamese  
Speakers:  
Re-Examining Their Availability for Japanese Vocabulary Acquisition

AMANO, Yuko; MICHIGAMI, Fumie  
TRAN, Quoc, Hiep; HIRUMA, Yoichi

---

—第33回小出記念日本語教育学会年次大会より—

プログラム		79
講演「生成AIと言語教育は共存できるか」		
	高橋 薫	83
講演総括		93
研究発表要旨		95

---

—小出記念日本語教育学会について—

2024年度活動報告		114
研究会時代及び学会移行後の年次大会開催履歴		117
小出記念日本語教育学会紹介		121
小出詞子先生について		123
学会組織図・2024年度役員一覧		124
会 則		126
論文集34号 投稿規定		129

---